
空間

輝奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空闇

【コード】

N5860Y

【作者名】

輝奈

【あらすじ】

主人公・櫻羽 カレン。

サクラ吹く冬

桜は絶つことなく意味ありげに花びらを散らしていた。

つきが紅く光り、昼間に降った雨から出来た水溜りを血のように染めている。

白銀の髪に月と同じ紅い瞳を持った少女は、小さく整った顔と比例するかのように大きなイヤリングを耳につけており異様なまでに髪の色を引き立てていた。

時は真冬、吐く息は白く凍りつく。

足元に並ぶ霜柱は地面を白く塗りつぶす。

「時は、来たな。」

小さく呟かれた言の葉は白い息と共に外に飛び出し、凍りつき、死んだように聞こえなくなった。

少女は、手から魔方陣を作り出し空へ掲げる。

「今宵、我は甦る。復讐を楽しみ合おうぞ、櫻羽 カレンよ、貴様らキガロウには滅んでもらうぞ。」

桜羽 ハレン

「さーくらばー!!」

うるさい朝の光景をハレンは耳にヘッドホンを仕込み遮断する。
いつもいつも。

ああ、うっとうしい。

「ハレン、お前は。」

ヘッドホンに手を掛け取ろうとする手をハレンは蹴り上げ、そのまま首元に鉄製のヘアピンを当てた。

「毎度、こわいな。」

「そろそろ、やめてくれ、ハイジユ。勢いあまって殺しかねない。」

ハレンはヘアピンをポケットに差し込むと黙って歩き出す。

「おはよ、ハレン、朝から顔がエゲついで。」

「ああ、レジュールこの男を黙らせてくれ。」

「……………により、ココの値する文字はアレウイ族古代のものと思われます。」

アレウイ、古代より続く私の種族。

授業中何度も何度も送られてくる回し手紙を破いては燃やす。

それを繰り返すうち、教室が焦げ臭くなるが先生ですら何も言わない。
いや、いえないのだ。

サクラ2

「こんな所におったのか我を欺く気か？笑わせるな。」

イヤリングが軽やかにゆれる。

小道を1人歩く少女の周りのは魔妖鬼がたかる。

そう、ごみにわくハエのように。

「キガロウもご苦労だ、死んで尚櫻羽のことを気にせんといかならな。」

不気味に笑う少女は一匹の魔妖鬼の触れた、醜く崩れた皮膚が再生し始めさつきとは比べ物にならないくらい可愛らしい女の子に変わる。

5

「姉さま、ご命令を。」

「キガロウの墓を見つけ出しなさい。」

「御意」

姿を消したあの赤毛の女の子を見送り何も映さない瞳で空を仰ぐ日
日が昇る前の暁は彼女にとつて、

苦い過去であり、これからの明るい未来の象徴だった。

「櫻羽 カレンの子供か……。めんどくさいことを。」

目の前に広がる人間界リアルはもう、昼時だった。

時間の進み具合の違う世界、
偽世界。フェイク

もうスグ、朝が来る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5860y/>

空闇

2011年12月1日01時51分発行